

2025 年 4 月 21 日

「2025 年 1～3 月期業況アンケート調査」結果 (2025 年 4 月調査)

全産業の業況感が2期ぶりに悪化、先行きも悪化見通し

照会先 一般財団法人長野経済研究所
調査部（担当：桑井、中村）
電話 026-224-0501



2025 年 1～3 月期 業況アンケートから

全産業の業況感が 2 期ぶりに悪化、先行きも悪化見通し

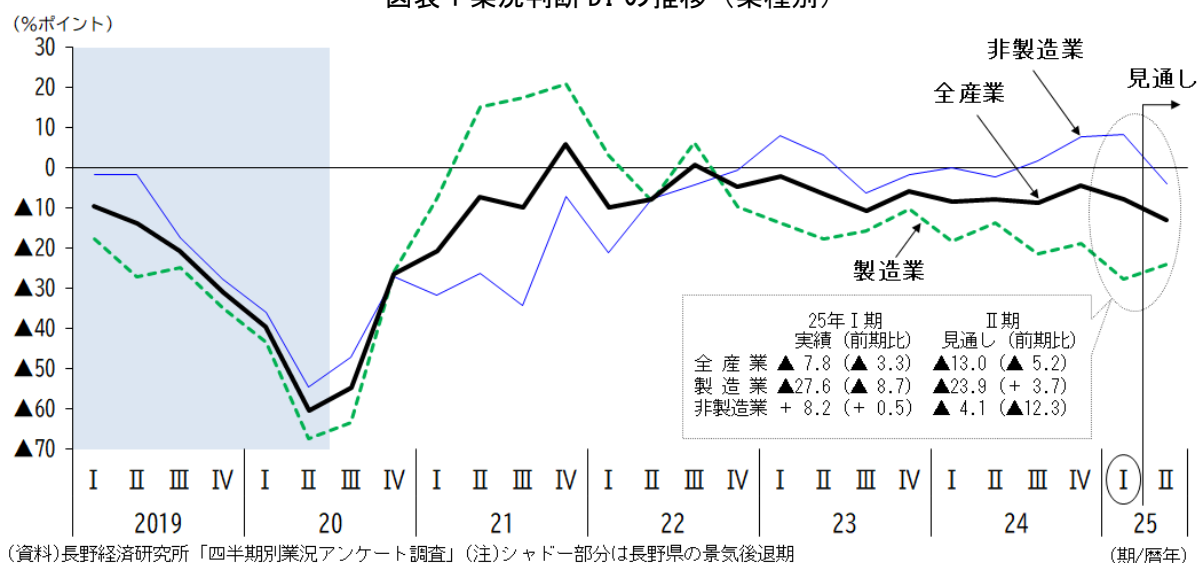
○製造業は2期ぶりに悪化、非製造業は3期連続で改善

- ・ 25 年 1～3 月期の県内企業の業況判断 DI（業況が「良い」と答えた企業割合－「悪い」と答えた企業割合、%ポイント）は、全産業が△7.8 と前期から 3.3 ポイント低下し、2 期ぶりに悪化した（図表 1）。
- ・ 業種別には、製造業が△27.6 と前期に比べ 8.7 ポイント低下し、2 期ぶりに悪化した一方、非製造業は+8.2 と同 0.5 ポイント上昇し、3 期連続で改善した。
- ・ 規模別には、大企業は製造業、非製造業ともに改善した一方、中小企業は製造業、非製造業いずれも悪化した（図表 2）。
- ・ 25 年 4～6 月期は、全産業が△13.0 と今期に比べ 5.2 ポイント低下する見通し。業種別では、製造業は△23.9 と同 3.7 ポイント上昇する一方、非製造業は△4.1 と同 12.3 ポイント低下する見通し。企業規模別では、大企業製造業が△29.7 と 2.7 ポイント、大企業非製造業は+3.3 と 16.7 ポイント悪化する見通し。
- ・ 25 年 1～3 月期の売上高は、非製造業は前年を上回り、製造業は前年並みとなった。4～6 月期は、非製造業は前年を上回るが、製造業は前年を下回る見込み。25 年 1～3 月期の経常利益は、製造業、非製造業ともに前年を下回るほか、4～6 月期もともに前年を下回る見込み（図表 3、4）。
- ・ 雇用水準 DI は、非製造業の不足感が引き続き強く、設備水準 DI は、製造業も不足超に転じた（図表 5、6）。

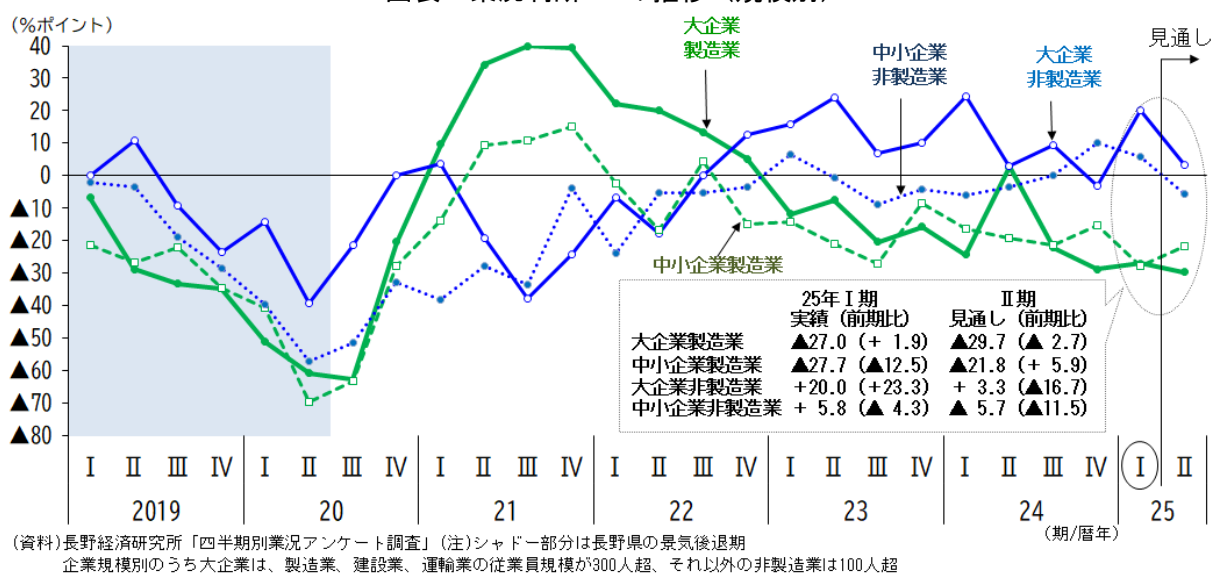
○今回調査のポイント

- ・ 25 年 1～3 月期の製造業は、中国景気の低迷や PC・スマートフォンなど IT 関連需要の減少が続き、電子部品・デバイスや生産用機械の受注が低調で、全体の業況感も悪化した。非製造業は、製造業関連の受注低迷や補助金の縮小に伴うガソリン価格上昇の影響から機械器具卸や貨物などが低調だった一方、小売業でコスト上昇分の価格転嫁が進んだほか、宿泊・旅客といった観光関連サービス業で客数増加や客単価の上昇がみられ、全体の業況感は小幅に改善した。
- ・ 25 年 4～6 月期の製造業は、業況感の改善を見込むものの、中国景気の低迷や IT 関連需要の弱さに加え、米国の輸入関税引き上げもあり、その影響が懸念される。非製造業は、観光面では春の行楽シーズンを迎え、大型連休を中心に国内客やインバウンド需要が底堅く推移するものの、コスト上昇や人手不足への懸念などから、業況感は悪化する見通し。
- ・ 今後は、製造業では米国の輸入関税の動向、非製造業では引き続きコスト上昇分の価格転嫁の動向や人手不足下での需要の取り込みなどが注目される。

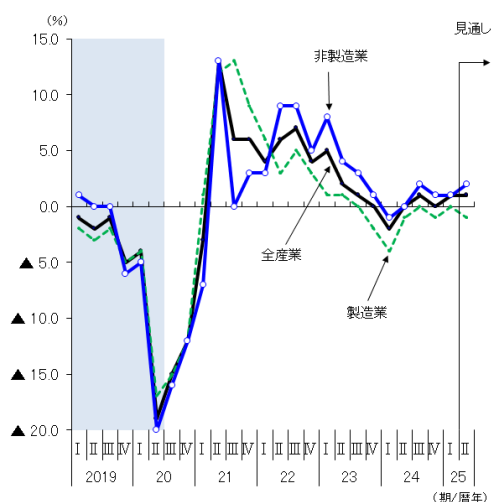
図表 1 業況判断 DI の推移（業種別）



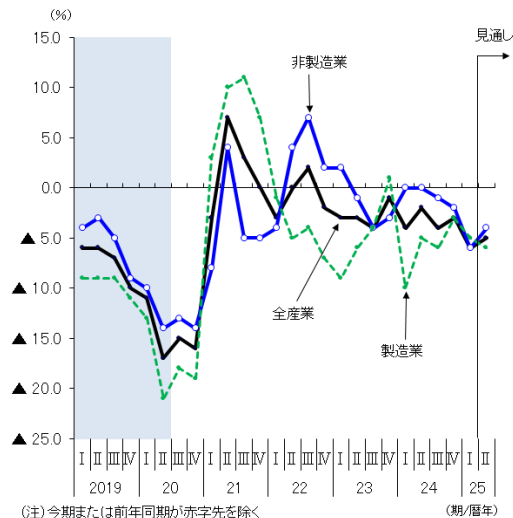
図表 2 業況判断 DI の推移（規模別）



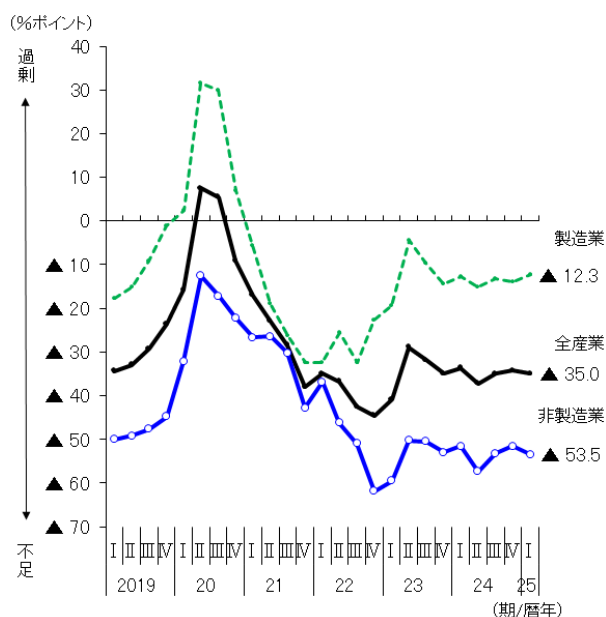
図表 3 売上高の推移（前年同期比）



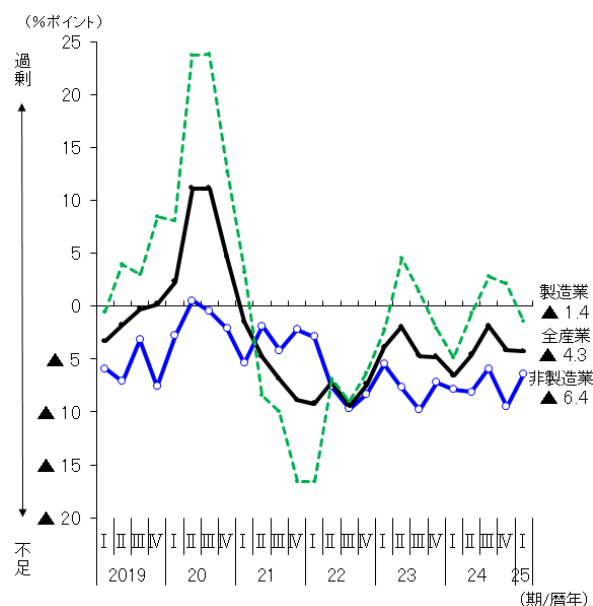
図表 4 経常利益の推移（前年同期比）



図表5 雇用水準 DI の推移



図表6 設備水準 DI の推移



<各 DI の推移>

□ 業況判断 DI (業種・規模別) (回答社数構成比「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種		2024 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月	4～6 月 見通し
全産業		▲8.5	▲7.7	▲8.8	▲4.5	▲7.8 (▲13.4)	▲13.0
	製造業	▲18.4	▲13.7	▲21.5	▲18.9	▲27.6 (▲22.4)	▲23.9
	非製造業	0.0	▲2.3	1.8	7.7	8.2 (▲5.9)	▲4.1
	卸小売業	0.0	▲17.9	▲14.3	▲6.4	▲1.4 (▲7.9)	▲14.3
	建設業	7.0	2.5	2.8	7.5	5.0 (▲17.5)	▲7.5
	サービス業	▲5.4	11.0	18.4	21.2	21.6 (3.1)	10.0

規模別	製造業	大企業	▲24.3	2.6	▲22.3	▲28.9	▲27.0 (▲21.0)	▲29.7
		中小企業	▲16.4	▲19.1	▲21.3	▲15.2	▲27.7 (▲22.9)	▲21.8
	非製造業	大企業	24.3	3.1	9.4	▲3.3	20.0 (0.0)	3.3
		中小企業	▲6.1	▲3.6	0.0	10.1	5.8 (▲7.2)	▲5.7

※括弧内は前回見通し

□ 雇用水準判断 DI (回答社数構成比「過剰」－「不足」・%ポイント)

業種			2024 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月
全産業			▲33.7	▲37.2	▲35.0	▲34.3	▲35.0
	製造業		▲12.8	▲15.0	▲13.2	▲14.0	▲12.3
	非製造業		▲51.5	▲57.3	▲53.2	▲51.5	▲53.5
	卸小売業		▲34.8	▲53.7	▲44.3	▲39.7	▲44.3
	建設業		▲69.8	▲62.5	▲66.7	▲67.5	▲67.5
	サービス業		▲57.1	▲57.8	▲55.4	▲53.0	▲55.0

規模別	製造業	大企業	▲8.1	▲23.1	▲11.1	▲13.2	▲21.6
		中小企業	▲13.6	▲12.1	▲13.9	▲14.3	▲8.9
	非製造業	大企業	▲63.6	▲71.9	▲53.1	▲56.7	▲70.0
		中小企業	▲48.4	▲54.0	▲53.3	▲50.4	▲50.0

□ 設備水準判断 DI (回答社数構成比「過剰」－「不足」・%ポイント)

業種		2024 年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	2025 年 1～3 月
全産業		▲6.6	▲4.6	▲1.9	▲4.2	▲4.3
	製造業	▲4.9	▲0.7	2.8	2.1	▲1.4
	非製造業	▲7.9	▲8.1	▲5.9	▲9.5	▲6.4
	卸小売業	▲9.1	▲10.4	▲8.6	▲6.3	▲10.0
	建設業	▲2.3	▲2.5	▲5.6	▲5.0	▲2.5
	サービス業	▲10.7	▲9.4	▲3.1	▲15.2	▲5.0

規模別	製造業	大企業	▲2.7	2.6	5.6	7.9	0.0
		中小企業	▲5.8	▲1.8	1.9	0.0	▲2.0
	非製造業	大企業	▲12.1	▲18.8	▲15.6	▲20.0	▲10.0
		中小企業	▲6.8	▲5.7	▲3.6	▲7.2	▲5.8

■ 調査概要

- ・ 企業経営者を対象にした調査で、業況、売上高、経常利益、受注、生産、価格など、企業活動に関する現状と見通しを数字で表したものである。具体的には、個々の項目毎に、良い、好転（増加等）と回答した企業から、悪い、悪化（減少等）と回答した企業割合の差を算出するほか、当期の水準を前年同期と比較、検討し、その動きから景気全体の趨勢を判断する。

◆ 調査対象期・実施時期・為替レート

- ・ 対象期 2025 年 1～3 月期、見通し 25 年 4～6 月期
- ・ 実施時期 25 年 3 月中旬～4 月上旬
- ・ 平均為替レート 25 年 1～3 月：152.49 円/\$（10～12 月：152.29 円/\$）

◆ 対象県内企業・事業所

		製造業			非製造業			卸・小売	建設	サービス	大企業	中小企業	合計
			大	中小		大	中小						
合計	対象先数	259	55	204	352	42	310	139	78	135	97	514	611
	回答先数	138	37	101	161	30	140	70	40	60	67	241	308
回答率（%）		53.3	67.3	49.5	45.7	71.4	45.2	50.4	51.3	44.4	69.1	46.9	50.4

（注）企業規模別のうち大企業は、製造業、建設業、運輸業の従業員規模が 300 人超、それ以外の非製造業は 100 人超

◆ 製造業の想定為替レート（平均）

	2024 年度	2025 年度
ドル円	146.28 円（150.00 円）	146.12 円（150.00 円）
ユーロ円	155.98 円（160.00 円）	156.17 円（160.00 円）

※ 括弧内は中央値

以上